

平成29年度 室蘭開発建設部 危機管理演習を実施しました

～大地震と大津波による災害を想定した防災訓練～

防災対策官

平成30年1月31日(水曜日)、大津波警報の発表により本部職員が室蘭プリンスホテルに非常参集した状況で災害活動を行うことを想定した危機管理演習を、室蘭開発建設部本部庁舎で実施しました。

本演習は、災害時における適切な初動体制の確立と、災害対応力の向上を図ることを目的としています。

当部職員のほか防災関係機関など約80名が参加し、ロールプレイング方式による本番さながらの演習により、防災関係機関と連携した災害対応、初動体制の確立等に関する課題が抽出されました。

室蘭開発建設部では、これからも防災訓練を実施し、防災力向上に向けて取り組みます。

◆ロールプレイング方式の演習とは

演習指揮部と演習部に分かれ、演習指揮者がシナリオに基づき状況を付与し、演習者が状況判断・意思決定等の一連の災害対応活動を図上で行う演習。

◆参加機関

室蘭地方气象台、室蘭海上保安部、胆振総合振興局、日高振興局、室蘭市、室蘭市消防本部、室蘭警察署、陸上自衛隊第7師団、室蘭建設業協会、河川防災エキスパート、道路防災エキスパート

演習指揮部には多くの防災関係機関が参加



本番さながらの災害対策本部会議

災害対応活動にあたる演習者